

【おみそれしました】 子どもに教えられたエピソード2つです。

洗い物をしているときに、ふと思い出すできごとがあります。それは、私が2年生の担任をしていたときのことです。

生活科の授業で、「家族の役に立とう」ということで、家での仕事を決めて、それを行っての感想(思ったこと・気づいたこと)を書いてきて、発表をし合うというような学習内容でした。



Aさんの仕事は「洗い物」でした。そして、その仕事をしての感想に

「あらいものをしました。まずはせんざいであらいます。それから、せんざいを水でながします。あらったものをかごに入れてかわかします。せんざいであらう時は大きなものからあらいます。せんざいをながすときには、小さいものからあらいます。そうすると、(食器が)じゃまになりません」

これを聞いて、その頃、30ちょっとの、まあまあ良い大人の私は**目からウロコ**でありました。このようなことを今まで生きてきて意識したことがなかったからでした。

そして、すかさず実践してみると、**その通りなんです!!**この頃住んでいたアパートの流しは決して広いものではなかったのですが、Aさん方式をとると、狭い流しも、狭い食器置き場も有効に使えるのでした。

あれから、24・5年がたちますが、あの小2の9歳のAさんに教えられたことが、私のからだに脈々と息づき、洗い物をするたびに思い出される、忘れないエピソードです。Aさんに感服です。

霜柱を踏むKさん。今朝は何かあったのかしら？



この会話の次の日に、もっと大きな霜柱をヘルメットに入れて登校してきたKさん。もしや、ヘルメットの汚れも気にならぬほど、もっといやなことがあったのか???
校長先生は心配でなりません。

寒さも少しずつ緩んできたある朝。
久々にできていた霜柱を1年生のKさんが踏んでいました。
私 「霜柱ふむのすき？」
Kさん「うん」
私 「なんで？」
Kさん「すっきりするから」
私 「すっきり？」
Kさん「いやなことがあったときにふむと、すっきりするよ」
私 「へえ。じゃあ、校長先生も次やってみるね」

子どもたちも自分なりのストレス解消法を持っているのですね。いやなことはない方が良いですが、全てなくなることは残念ながら…。良き解消法を教えてください。しかし、霜柱はあと少ししかできないかも(´_´)